

主催：日本学術会議地域研究委員会地域情報分科会・地球惑星科学委員会IGU分科会

公開シンポジウム

「地名標準化の現状と課題—UNGEGNの活動を理解し日本の地名を考える—」

国連はなぜ地名標準化 に取り組み始めたのか

青山学院大学
村上広史

2025年5月24日

内容

1. 国連の使命
2. 国連による地名標準化議論の端緒
3. 国連地名標準化会議・専門家会議の設置
4. 地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会（UN-GGIM）の設置
5. 国連地名標準化会議及びUNGEGNの機構改革
6. まとめ

1. 国連の使命

国連は何をやるところか

国連

- 目的（国連憲章第1条*）

- 国際の平和及び安全を維持すること（中略）。
- 人民の同権及び自決の原則の尊重に基礎をおく諸国間の友好関係を発展させること（中略）。
- 経済的, 社会的, 文化的又は人道的性質を有する国際問題を解決することについて,（中略）
国際協力を達成すること。
- これらの共通の目的の達成に当って諸国の行動を調和するための中心となること。

*：国際連合広報センター（https://www.unic.or.jp/info/un/charter/text_japanese/）

ECOSOCが地名の標準化に取り組んだ背景には、何らかの「経済的、社会的、文化的又は人道的性質を有する国際問題」があったはず

**地名に関する「国際問題」
とは何だったのか？**

2. 国連による地名 標準化議論の端緒

地名の標準化が必要となった
国際問題とは何か

ECOSOC決議 131 (VI)* : 1948

・専門機関および国際機関の地図業務の調整

- 正確な地図は、多くの場合相対的に開拓が進んでいない地域に存在する世界資源の適切な開発のための前提条件 (中略)
- 国連及び専門機関の地図業務並びに加盟国の地図業務を調整することは、費用、時間及び人員の著しい節約をもたらす、地図技術及び基準の改善に寄与
- 勧告
 1. 加盟国政府は、自国領土の正確な測量と地図作成を推進
 2. 事務総長は、以下のために予算の範囲内で適切な行動
 - a. 技術情報の交換、並びに近代的な地図作成方法に関する研究の準備や統一的な国際基準の策定
 - b. 地図作成分野における国連及び専門機関の計画・事業を調整
 - c. 加盟国政府の地図業務との緊密な協力を発展

事務総長対応*：1949

- 全加盟国に決議 131 (VI)を送付し, 以下を要請
 - 決議実現に向けたコメント
 - 測量及び地図作成に関する活動状況についての資料提供
 - 地図作成に取り組む権威機関の名称と住所, そして国連事務局が地図に関して連絡を取るべき適切な政府機関の名称の提出

*：ECOSOC（1949a）の報告書の内容を村上が和訳及び要約

専門家会合開催*：1949

- 世界の地図整備は依然として不十分
 - 政府の認識欠如, 予算不足, 国際的組織の欠如など
- 経済社会開発への地図の活用が不十分
 - 開発計画策定やその実施において, 予算と時間を浪費
- 国際組織は各国の地図作成事業に貢献すべき
- 政府代表が集まる地域会議を招集せよ
- 新たな委員会や団体の設置は不要
 - 国連事務局への地図室の設置
 - ✓ 国連及び専門機関の地図作成に関する活動の調整
 - ✓ 世界の地図状況の年報の発行

*：ECOSOC（1949b）の専門家会合の報告書に基づく事務総長報告書の内容を村上が和訳及び要約

100万分1国際図整備プロジェクト

- 1891年第5回国際地理学会議でウィーン大学アルブレヒト・ペンクが提唱
 - 統一図式に基づいて縮尺100万分1の地図を国際協力により整備するプロジェクト
 - 1909年イギリス主導の第1回国際会議でプロジェクト始動
- プロジェクトの事務局（中央局）は英国陸地測量部内に設置
- 第1次, 第2次世界大戦で整備が中断

ECOSOC決議 171 (VII)* : 1948

- 国連やその専門機関の設置に伴う既存の国際機関との重複や活動の分散の回避が必要
- 加盟国に対して既存国際機関の国連や専門機関への吸収・統合に関する意見照会



100万分1国際図整備プロジェクト中央局業務の
国連への統合について加盟国が積極的意見
(ECOSOC, 1949a)

ECOSOC決議 261 (VII) A* : 1949

- 事務総長に以下を指示
 - 地図に関する地域会議開催に向けた加盟国との協議
 - 既存の地図業務の国連地図室への統合

ECOSOC決議 261 (VII) B* : 1949

- 事務総長に以下を指示
 - 100万分1国際図整備プロジェクト中央局の国連への吸収又は統合

ECOSOC決議 412 A.II (XIII)* : 1951

- 事務総長に以下を要請
 - 中央局業務の国連地図室への速やかな移管
 - 100万分1国際図整備の完成のための適切な方法を推奨

ECOSOC決議 476 A (XV)* : 1953

- 事務総長に以下を要請
 - 地域地図会議の開催
 - 地図上の地名の標準的表記方法の採用について、各国政府および適切な政府間組織との協議を継続し、結果をECOSOCに報告書を提出

* : ECOSOC (1953b) の決議文を村上が和訳及び要約

ECOSOCでのイランの提案*：1950

1. すべての刊行地図や現行の教科書, 特に 国際的な100万分の1地図に記載されているすべての国のすべての地理的名称, 国, 町, 自然地形の名称は, 現在の現地名に統一して記載されるべきである (当然, 歴史的な地図は除く)
2. 地図上の名称を統一的に表記・発音できるようにするため, 国連の決議として単一の特別なアルファベットを作成し, 公表すべきである.

ECOSOC決議 556 (XVIII)* : 1954

- 国連アジア極東地域地図会議を1955年にインドで開催
- 暫定議題
 - 100万分1国際図の仕様
 - 地図上の地名の標準的表記方法の採用

* : ECOSOC (1954) の決議文を村上が和訳及び要約

国連アジア極東地域地図会議*： 1955

- 地名の統一表記について、さまざまな参加国の賛同意見があったが、同時に技術的課題が多く、その解決は地域会議の力量をはるかに超えていると認識
- ローマ字を使用する言語の場合は現地表記の採用で問題ないが、国連の下に会議を設置するなどして世界の全ての文字に適用する表記則を作成しなければ他の言語に関しては難しい
- 米国提案による対策の大枠案策定に賛同する

地名の標準化が必要と なった国際問題とは何か

世界資源の適切な開発のための正確な地図整備が不十分という国際問題

- そのために100万分1国際図の整備を活用した
- その整備促進のために地名表記の統一が必要だった

3. 国連地名標準化会議・ 専門家会議の設置

設置になぜ時間を要したか

事務総長報告*：1959

1. 国連が「地名に関する国際委員会（仮称）」のような国際的な組織を設置
2. 国連が地名の標準化や調整を行う組織の設置を行う国に対してその設置や地名集の作成を早期に行うように奨励・指導
3. 国連が同じ地名記述体系を使う国々を代表する地域作業部会の会議を支援し、国内の地名手続きの統一達成と外国地名の翻字方法の標準化のための指導原則を策定
4. 国連事務局は地名の中央情報センターとして以下を行う：
 - a. 地名集や国内地名標準化の技術的な手続き情報の収集
 - b. 他国の地名の翻字方法の収集
 - c. 収集された文書や情報の国連刊行物による加盟国への配布

ECOSOC決議 715 A (XXVII)* : 1959

• 事務総長に以下を要請

1. 公平な地理的分布と様々な言語体系に配慮しつつ、地名問題に関する広範な経験を有する国々から選ばれた専門家による小グループを組織して国内の地名標準化の技術的問題を検討するとともに、各国の地名標準化に繋がるような手続きに関する提言案を準備する；
2. これらの検討結果に基づき、国際会議開催や共通の言語体系に基づく作業部会の支援の妥当性についてECOSOCに報告する。

地名専門家グループ会議報告*：1961

- 国際会議の開催と作業部会への支援の条件

- 多数の国が関心を示し, 国内標準化の基盤を構築

- ✓ これまでの取組と技術的課題や今後の課題など, 提言実現に対する 各国政府の取組の報告の2年以内の提出

- 技術的問題の洗い出し等, 徹底した準備

- ✓ 国連事務局を支援する言語学者, 地理学者, 地図学者, その他の地名利用者からなる 専門家グループが有用

➡ 国連地名標準化会議・UNGEGNの骨格

ECOSOC決議 814 (XXXI)* : 1961

• 加盟国に以下を提言

1. 地名専門家グループの提言を取り入れて, その
早期実現に取り組む
2. 地名標準化の進捗の情報, 地名集・地図・国内
地名標準化の技術的手続き情報の写し, 他国の
地名の翻字に使われる技術情報, 専門家グループ
報告へのコメントなどを事務総長に提出する

* : ECOSOC (1961b) の決議文を村上が和訳及び要約

事務総長報告*：1963

- 加盟国32ヵ国からの回答中、9か国のみが地名標準化に関する国際会議の開催を支持
- 国際会議を支持する政府の数が少ないため、引き続き加盟国に回答を求めていくことをECOSOCに報告

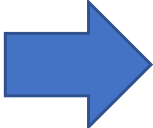
ECOSOC決議 929 (XXXV)* : 1963

- 事務総長に以下を要請
 - 加盟国や専門機関などと協議の上, 国際会議開催の妥当性や開催時期, 開催場所, 議題案について1年以内に報告

* : ECOSOC (1963b) の決議文を村上が和訳及び要約

事務総長報告*：1964

- 意見招請に対し、加盟国43ヵ国から回答
 - 37ヵ国が地名標準化国際会議の開催に賛同
 - 開催時期、開催場所については多様な意見
- 十分な事前準備の必要性がある一方、緊急性は高くないため、アジア極東地域（1964年）とアフリカ地域（1966年）の地図会議での議論を踏まえて、1967年に改めて開催時期の議論実施を提案

 **ECOSOC：1967年の開催を
満場一致で決定*(1964)**

100万分1国際図：整備の加速？

- 第3回国連アメリカ地域地図会議*：1985
 - 国連に対して、進捗が芳しくない100万分1国際図の現状と将来の調査を要請
- 専門家グループ特別会議開催：報告書*：1986
 - 多くの国が国際図整備中止：優先順位低下と資金不足
 - 国連に対し、国際図整備のとりまとめは不必要と勧告
- 第11回国連アジア太平洋地域地図会議*：1987
 - 国連に対し、国際図整備とりまとめ中止を勧告
 - 国際図を地図整備事業とする国は共通仕様で整備継続
 - 国連図書館の国際図は継続して保管
- 第4回国連アメリカ地域地図会議*：1989
 - 専門家グループの報告書を承認
 - 国連に世界のデジタル地図整備状況の把握を勧告

*：UN（1985）, UN（1987）, UN（1989）の内容を村上が和訳及び要約

加盟国における100万分1 国際図整備の関心の低下*

国連が地名標準化に取り組む
根拠となる「国際問題」は？

*：地図整備自体の必要性が消滅したわけではない

4. 地球規模の地理空間 情報管理に関する国連 専門家委員会（UN- GGIM）の設立

国連地名標準化会議設置から
50年後に何が起きたか

地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会の設立

- 21世紀

- 地理空間情報の活用拡大
- 産学によるグローバルな会議開催が活発化
 - 政府間でもグローバルな議論の場の必要性が拡大

- 地理空間情報全般に関する国連会議（地域のみ）

- アジア太平洋地域地図会議（3年に1度）
- アメリカ地域地図会議（4年に1度）

- 地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会（UN-GGIM）の設立*：2011

- ECOSOCの専門家委員会（毎年開催）
- 5年後に活動報告（正規予算がない状態）

UN-GGIM活動報告*(i) : 2016

• 成果

- 世界測地系に関する国連総会決議採択（2015年）
- 地理空間情報に関する国際的な標準化団体との連携推進
- 統計情報と地理空間情報との統合に向けた取組
- 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた地理空間情報の活用

• 課題：正規予算の必要性

- SDGsの達成に向けた統計委員会との連携
- 途上国の人材育成
- 国連システム内の地理空間情報活動との連携

UN-GGIM活動報告*(ii) : 2016

- 機構改革：既存会議の廃止
 - 国連アジア太平洋地域地図会議
 - 国連アメリカ地域地図会議
- 地名関係委員会の会議開催予算
 - UNGEGN
 - ✓ 5年間で5日間の会議を2回：計10日間
 - 国連地名標準化会議（+UNGEEN）
 - ✓ 5年ごとに10日間の会議+UNGEENを2日間：計12日間
 - 会議開催予算合計：5年間で22日間

5. 国連地名標準化会議及びUNGEGNの機構改革

国連は地名標準化の議論をどのようにしようとしているか

第11回国連地名標準化会議*：2017

- 国連地名標準化会議及びUNGEGNを廃止
- 新たにUNGEGNを設立
 - 廃止された組織の責任を継承
 - 効率的運営と経費節減
- 新UNGEGNは2年に1度5日間開催
 - 5年間で12.5日間の会議開催（40%の予算削減）



ECOSOC決議2018/2で承認*：2018

戦略計画と作業プログラムの策定を勧告*：2019

Message from the Director, United Nations Statistics Division



Stefan Schweinfest
Director UNSD/DESA

**2017年, 国連持続可能な
開発アジェンダとECOSOC
の活動に, より機敏に対
応するため, 業務を改革
し近代化する必要性に迫
られ, リセットボタンが
押された。 * : 2021**

Message from the Director, United Nations Statistics Division



Stefan Schweinfest
Director UNSD/DESA

成功する強固な計画や作業プログラムは、継続的に監視, 評価され, 途中の内外の変化に適応するために修正されなければならない. 私は, この文書の実施要素にモニタリングと評価のコントロールが含まれていることをうれしく思う.* : 2021

Message from the Director, United Nations Statistics Division



Stefan Schweinfest
Director UNSD/DESA

**今後の作業項目には、
UNGEKN信託基金の設立も含
まれる。すべての作業プログ
ラムには、効果的かつ効率的
な実施、モニタリング、全体
的な持続可能性のための資
金が必要である。* ： 2021**

6. まとめ

- 国連が地名標準化に取り組んだ背景には、世界的な地図整備、特に100万分1国際図の整備の必要性が強く認識される中で、地名の統一的な表記が必要という「国際問題」があった。
- 100万分1国際図整備に対する加盟国の関心が1980年代に低下する中で、「国際問題」として国連が地名標準化に取り組む意義が不明瞭になった可能性がある。
- 地図分野の活動の急速なグローバル化によってUN-GGIMが設立されたり、SDGsの達成等が国連の優先課題となったりする中で、UNGEGNは「国際問題」の解決に役立つ取り組みを行っていくことが今後も求められていくと考えられる。

参考文献

- ECOSOC 1948a. Resolution 131 (VI). Co-ordination of cartographic services of specialized agencies and international organizations. E/695.
- ECOSOC 1948b. Resolution 171 (VII). Relations with inter-governmental organizations. Document E/1061.
- ECOSOC 1949a. Report of the Secretary-General on Relations with inter-governmental organizations. E/1318.
- ECOSOC 1949b. Report of the Secretary-General on Co-ordination of cartographic services of specialized agencies and international organizations. E/1322.
- ECOSOC 1949c. Resolution 261 A (IX). Co-ordination of cartographic services of specialized agencies and international organizations.
- ECOSOC 1949d. Resolution 261 B (IX). Co-ordination of cartographic services of specialized agencies and international organizations.
- ECOSOC 1951. Resolution 412 A.II (XIII). Inter-governmental organizations. E/2152.
- ECOSOC 1953a. International co-operation on cartography: Report of the Secretary-General and replies of governments. Official records of Fifteenth session.
- ECOSOC 1953b. Resolution 476 A (XV). International co-operation on cartography. E/2419.
- ECOSOC 1954. Resolution 556 (XVIII). United Nations regional cartographic conference for Asia and the Far East.
- ECOSOC 1959a. Report of the Secretary-General on International co-operation on cartography. E/3209.
- ECOSOC 1959b. Resolution 715 (XXVII). International co-operation on cartography.
- ECOSOC 1961a. Report of the Group of Experts on Geographical Names. E/3441.
- ECOSOC 1961b. Resolution 814 (XXXI). International co-operation in the standardization of geographical names.
- ECOSOC 1963a. Report of Secretary-General on International co-operation on the standardization of geographical names. E/3718.
- ECOSOC 1963b. Resolution 929 (XXXV). International co-operation in the standardization of geographical names.
- ECOSOC 1964a. International co-operation in the standardization of geographical names: report of the Secretary-General. E/3907.
- ECOSOC 1964b. International co-operation in cartography: Question of convening an international conference on the standardization of geographical names. Official records of ECOSOC Thirty-seventh session.
- ECOSOC 2011. Resolutions and decisions by ECOSOC sessions for 2011 and at its substantive session of 2011. E/2011/INF/2
- ECOSOC 2018. Resolution adopted by the Economic and Social Council on 10 November 2017. E/RES/2018/2.
- ECOSOC 2019. Report of the United Nations Group of Experts on Geographical Names on its 2019 session: recommendation 1. Resolutions and Decisions of the Economic and Social Council. E/2019/99.
- United Nations 1955. United Nations regional cartographic conference for Asia and the Far East. E/CONF. 18/6.
- United Nations 1985. The Third United Nations regional cartographic conference for the Americas. Vol. I. Report of the Conference E/CONF. 77/3.
- United Nations 1987. The Eleventh United Nations regional cartographic conference for Asia and the Pacific. Vol. I. Report of the Conference E/CONF. 78/4.
- United Nations 1989. The Fourth United Nations regional cartographic conference for the Americas. Vol. I. Report of the Conference E/CONF. 81/3.
- United Nations 2017. Eleventh United Nations Conference on the Standardization of Geographical Names. E/CONF. 105/165.
- UNGEGN 2021. Strategic Plan and Programme of Work 2021-2029. May 2021.

ご清聴ありがとうございました